

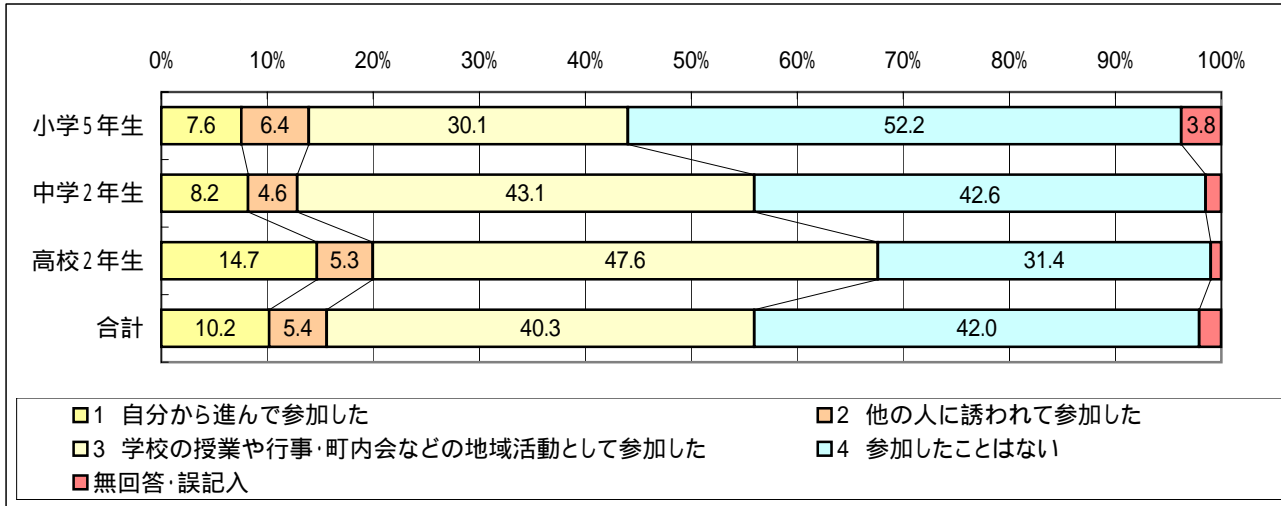
社会生活・他

1. 参加した体験活動 【小学5年生...問23】【中学2年生...問24】【高校2年生...問27】

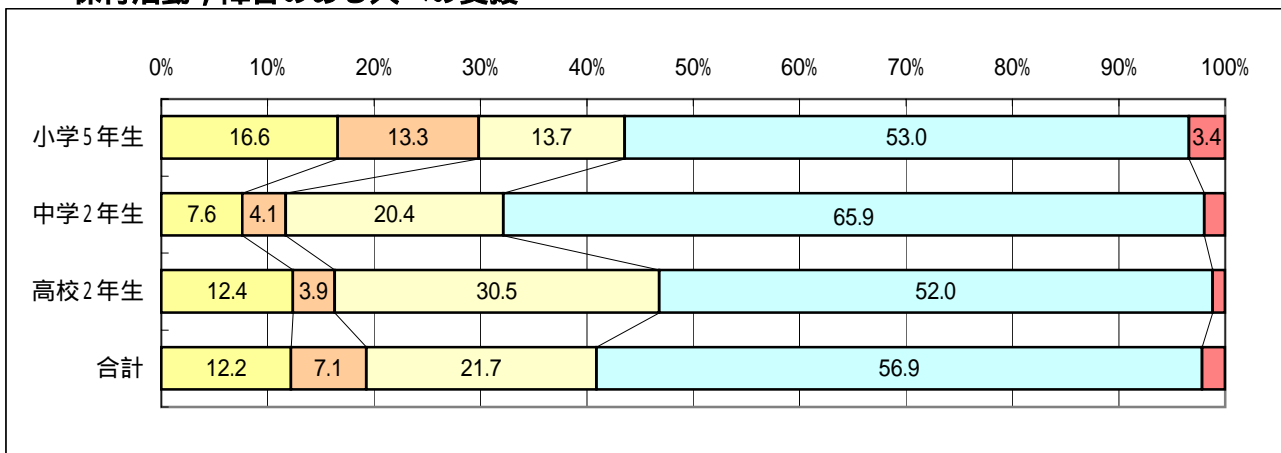
あなたは、これまでに次のような活動に参加したことがありますか。それぞれあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。(ただし2回以上参加した場合は、答えがふえてもかまいません)

- 1 自分から進んで参加した 2 他の人に誘われて参加した
3 学校の授業や行事・町内会などの地域活動として参加した 4 参加したことはない

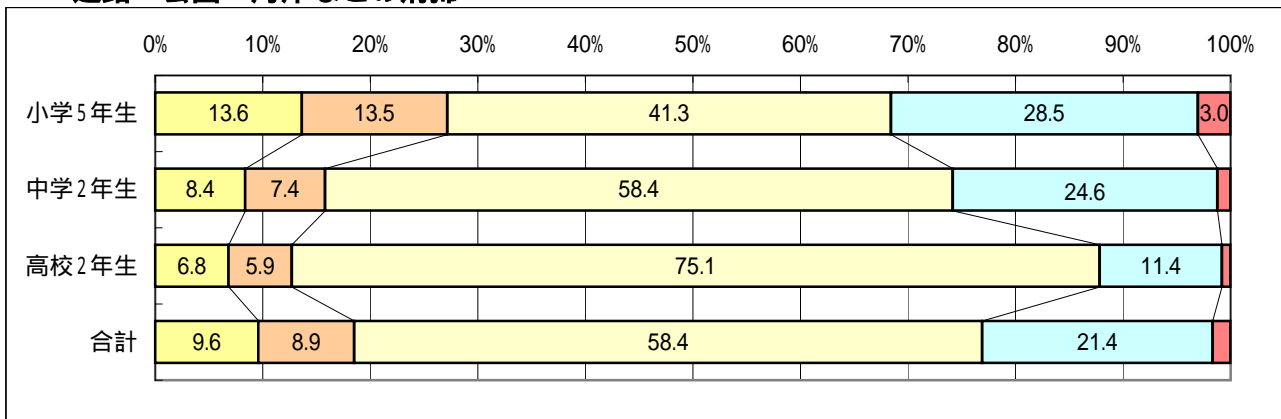
老人ホームや病院など施設への訪問



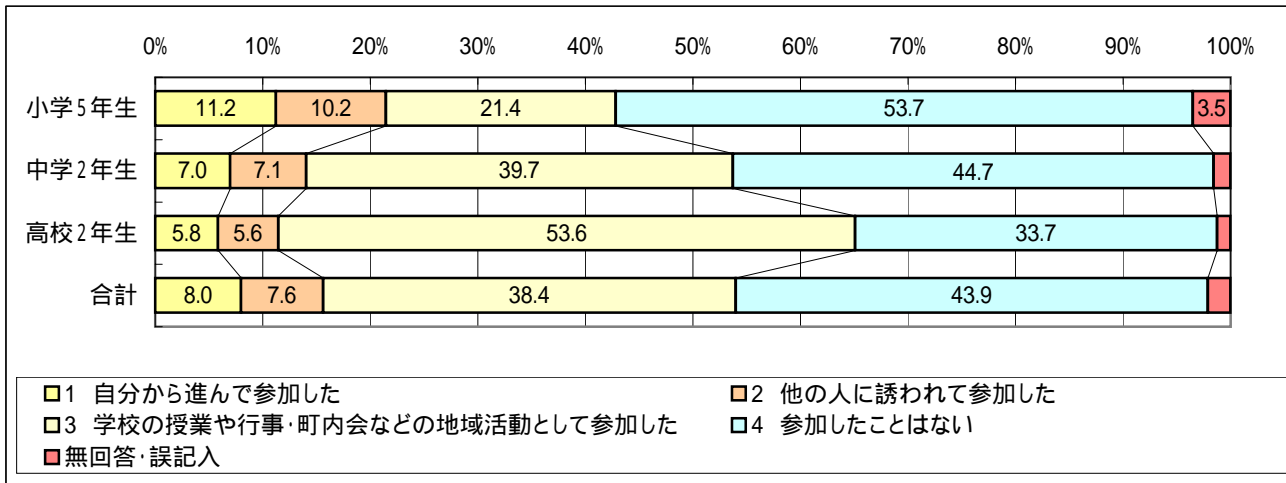
保育活動，障害のある人への支援



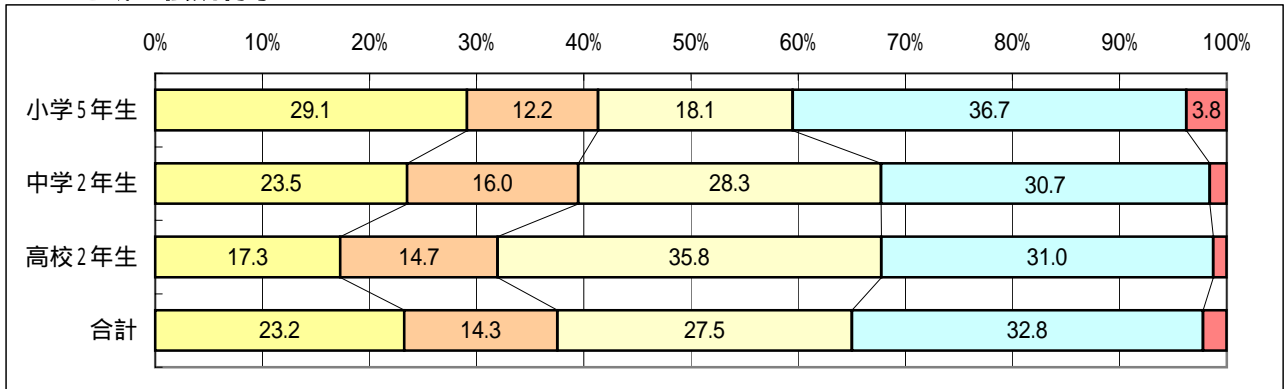
道路・公園・海岸などの清掃



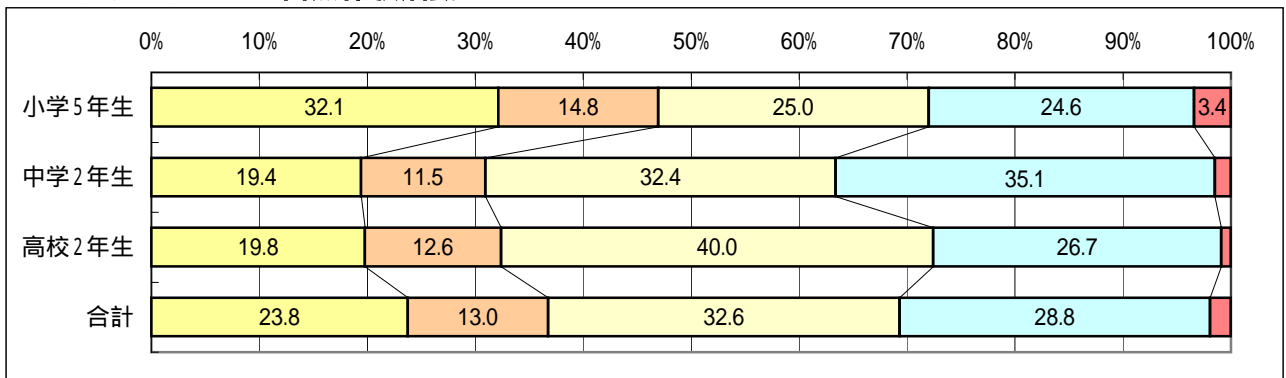
古紙やアルミ缶などのリサイクル運動



地域の伝統行事



キャンプなどの自然体験活動



参加経験者が多い方から「道路・公園・海岸などの清掃」76.9%、「キャンプなどの自然体験活動」69.4%、「地域の伝統行事」65.0%、「老人ホームや病院など施設への訪問」55.9%、「古紙やアルミ缶などのリサイクル運動」54.0%、「保育活動、障害のある人への支援」41.0%の順となっている。

当然ながら参加経験は小中高と年齢が上がるにつれて増加している。これに対して「自分から進んで参加した」と答えた者は、「老人ホームや病院など施設への訪問」を除いて小学生の方が多い。自発的に体験活動、ボランティア活動へ参加しようとする児童生徒たちの意欲は高まりつつあると見ることができる。

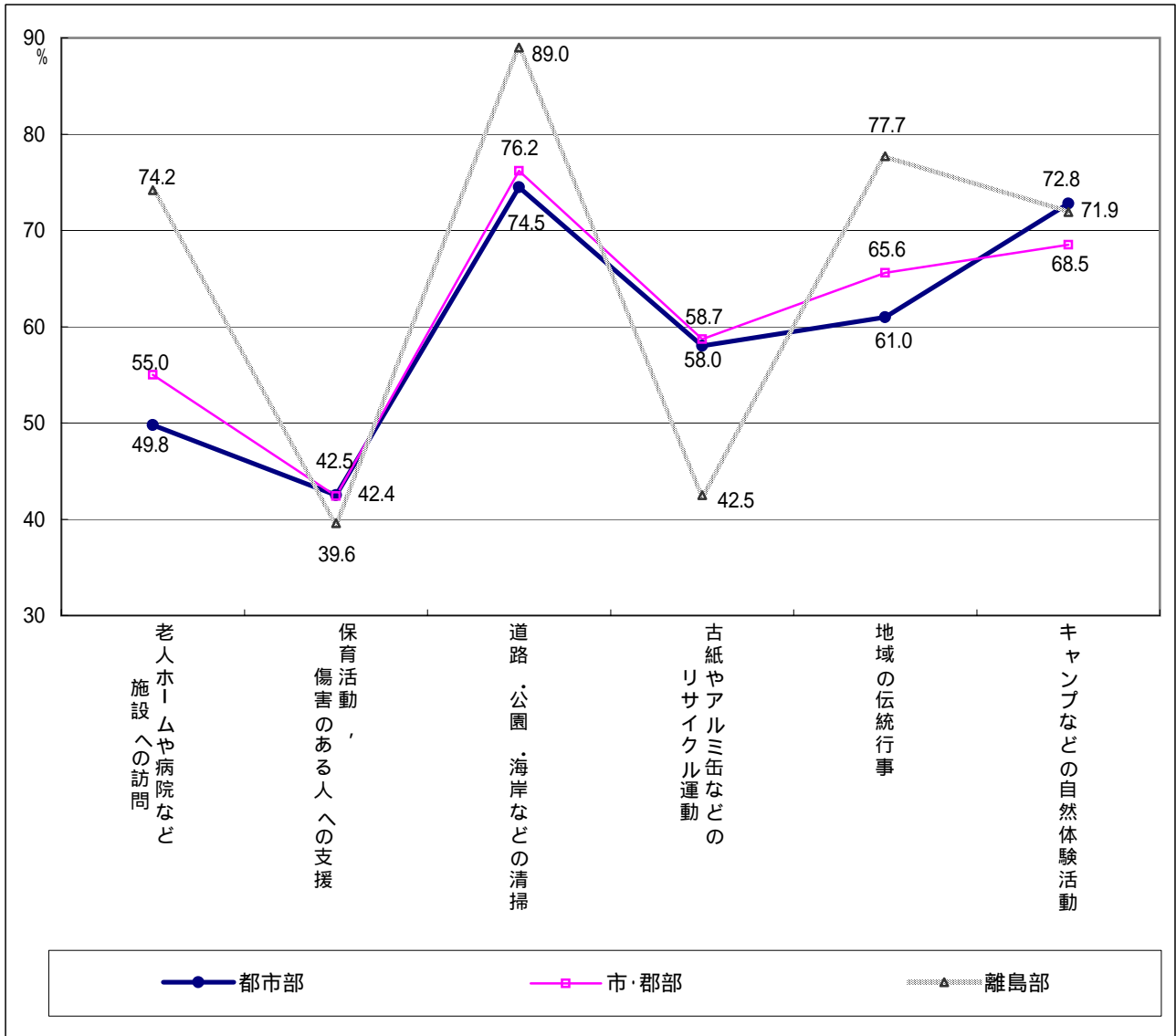
「参加の仕方」について見てみると、「老人ホームや病院など施設への訪問」「道路・公園・海岸などの清掃」「古紙やアルミ缶などのリサイクル運動」については、「参加したことがある」の中で、最も多いのは、「学校の授業や行事・町内会などの地域活動として参加した」（老人ホームや病院など施設への訪問40.3%、道路・公園・海岸などの清掃58.4%、古紙やアルミ缶などのリサイクル運動38.4%）である。

「自分から進んで参加した」（老人ホームや病院など施設への訪問10.2%、道路・公園・海岸などの清掃9.6%、古紙やアルミ缶などのリサイクル運動8.0%）との差は、30～50ポイントとなっており、他の活動よりもその差が大きい。

「保育活動，障害のある人への支援」「地域の伝統行事」「キャンプなどの自然体験活動」についても，「学校の授業や行事・町内会などの地域活動として参加した」(保育活動，障害のある人への支援21.7%，地域の伝統行事27.5%，キャンプなどの自然体験活動32.6%)が最も多い。ただし，「自分から進んで参加した」(保育活動，障害のある人への支援12.2%，地域の伝統行事23.2%，キャンプなどの自然体験活動23.8%)との差は，10ポイント以内であり，他の活動よりもその差は小さい。

地区別参加状況

「自分から進んで参加した」「他の人に誘われて参加した」「学校の授業や行事・町内会などの地域活動として参加した」のトータルで比較。



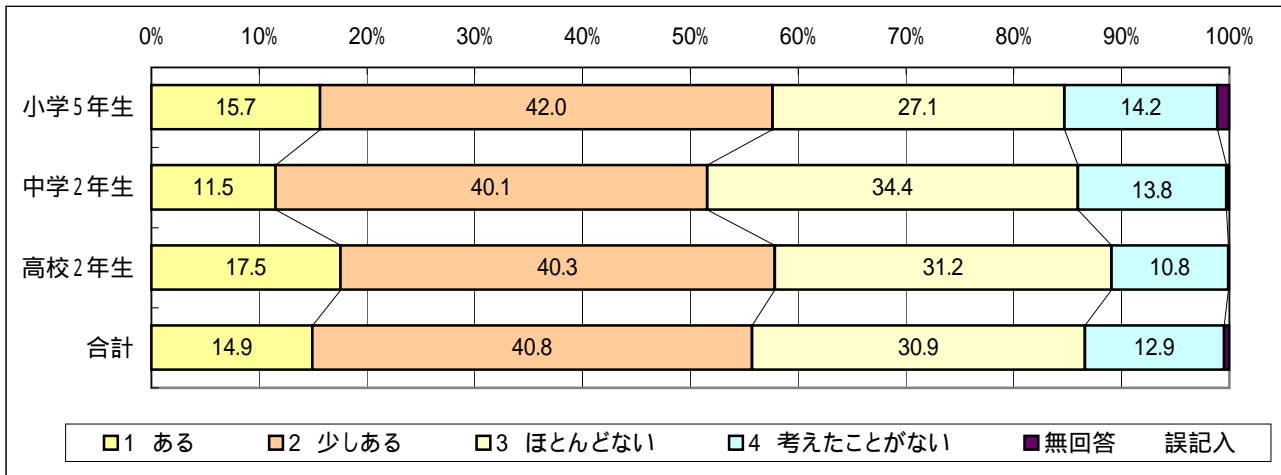
参加した体験活動について地区別の特徴をしてみると，「老人ホームや病院など施設への訪問」「道路・公園・海岸などの清掃」「地域の伝統行事」では離島部で参加経験の割合が多く，都市部で最も少ない。「古紙やアルミ缶などのリサイクル運動」では，逆転している。

「自分から進んで参加した」と答えた者の割合は，「老人ホームや病院など施設への訪問」(都市部7.1%，市・郡部10.6%，離島部15.5%)と「地域の伝統行事」(都市部22.5%，市・郡部19.8%，離島部34.6%)で離島部が際立っている。

2. ボランティアへの関心 【小学5年生...問24】【中学2年生...問25】【高校2年生...問28】

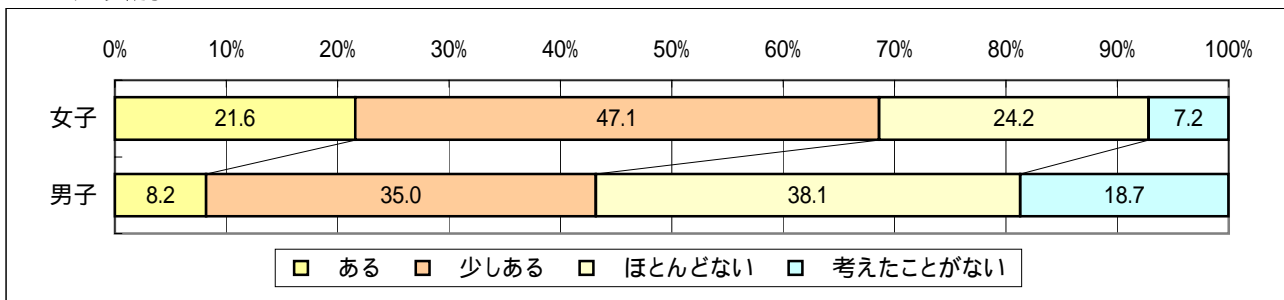
あなたはボランティア活動に興味がありますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

- 1 ある 2 少しある 3 ほとんどない 4 考えたことがない

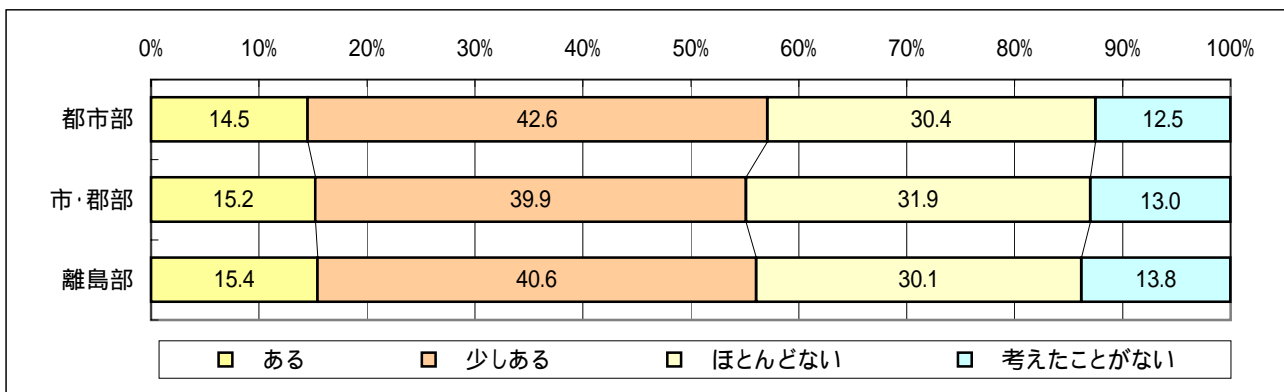


校種間の顕著な違いはないが、「ある」+「少しある」では小学生(57.7%)高校生(57.8%)に比べて中学生(51.6%)がやや低い。

男女別



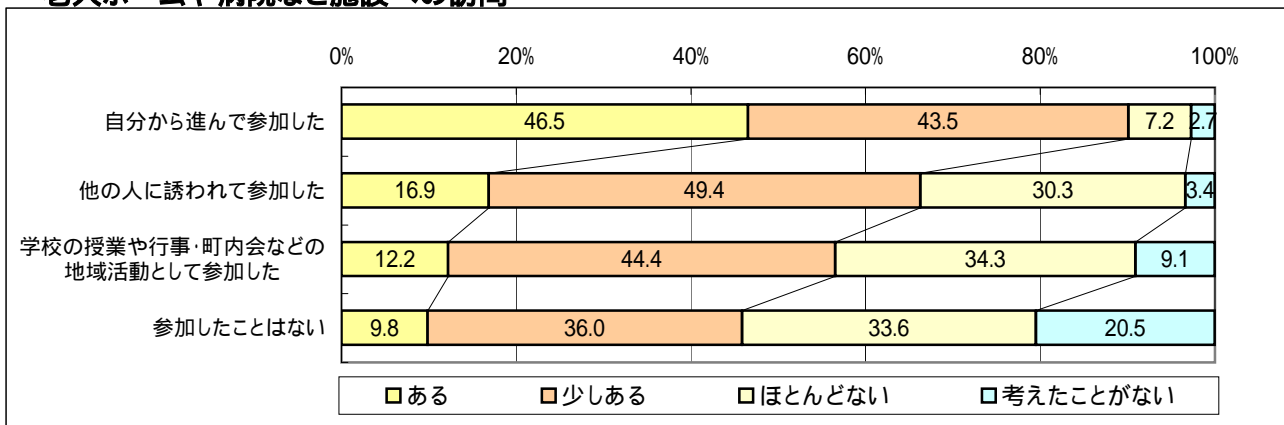
地区別



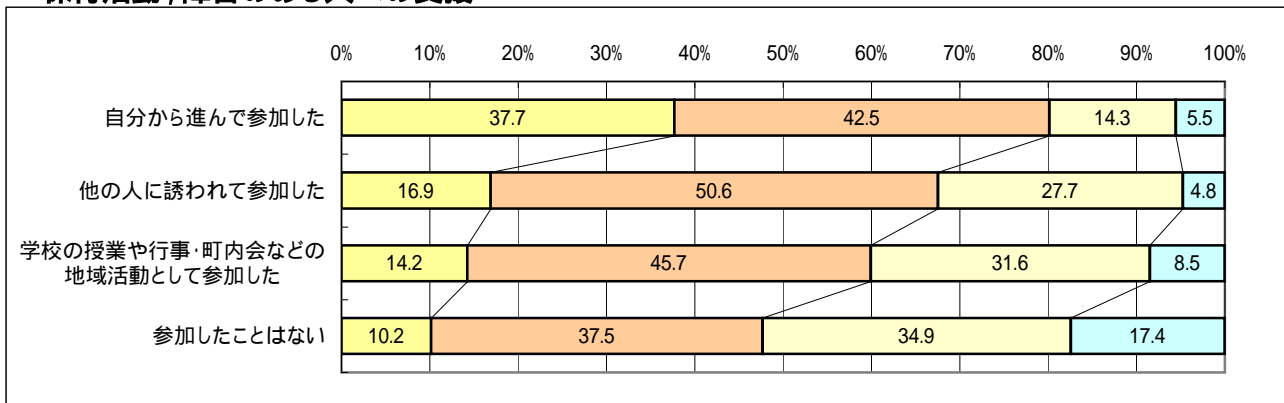
男女別で見ると、女子が男子より関心が高く、「ある」「少しある」を合わせた数字で25.5ポイントの開きがある。

地区別の差はほとんど見られない。

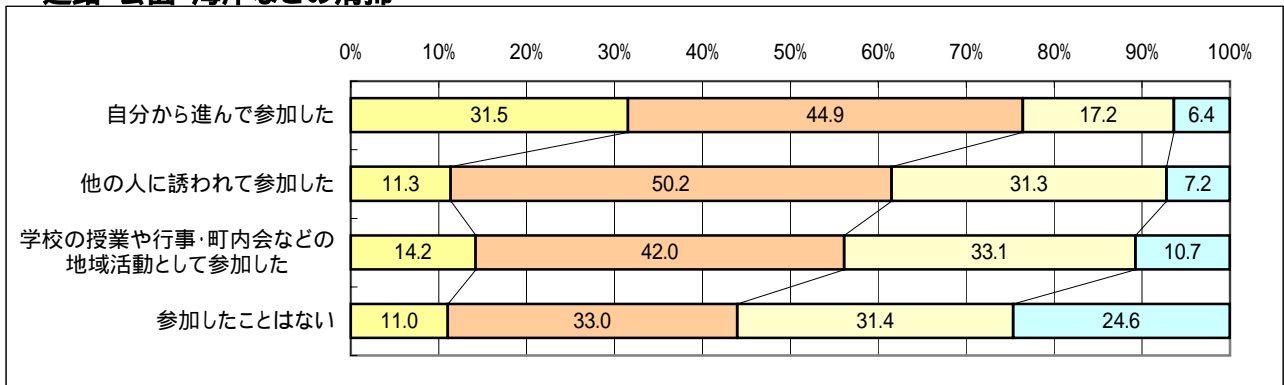
ボランティアへの参加経験とボランティアへの関心の関係
老人ホームや病院など施設への訪問



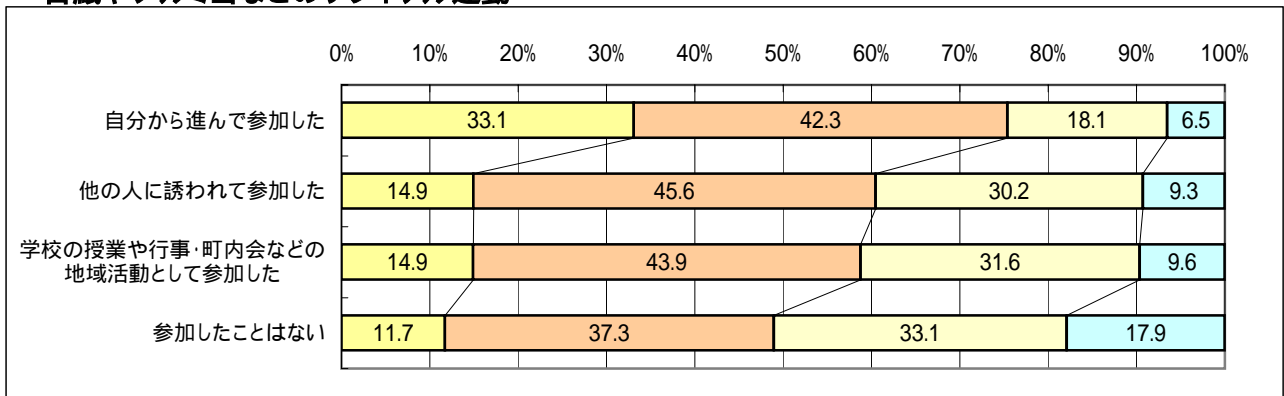
保育活動、障害のある人への支援



道路・公園・海岸などの清掃



古紙やアルミ缶などのリサイクル運動



4項目の活動それぞれに「自分から参加した」と回答した者は、他と比べてボランティアへの関心が、当然ながら極めて高い。

「他の人に誘われて参加した」「学校の授業や行事・町内会などの地域活動として参加した」と答えた者は、「参加したことはない」者より、関心がある(「ある」+「少しある」)と答えた割合が高い。このことは、「最初は受動的でも、参加すればボランティア活動への関心が高まる」ことを裏付けている。特に、どの項目を見ても参加経験のない者は、参加経験のある者と比べて「考えたことはない」と答える割合が著しく多くなる。

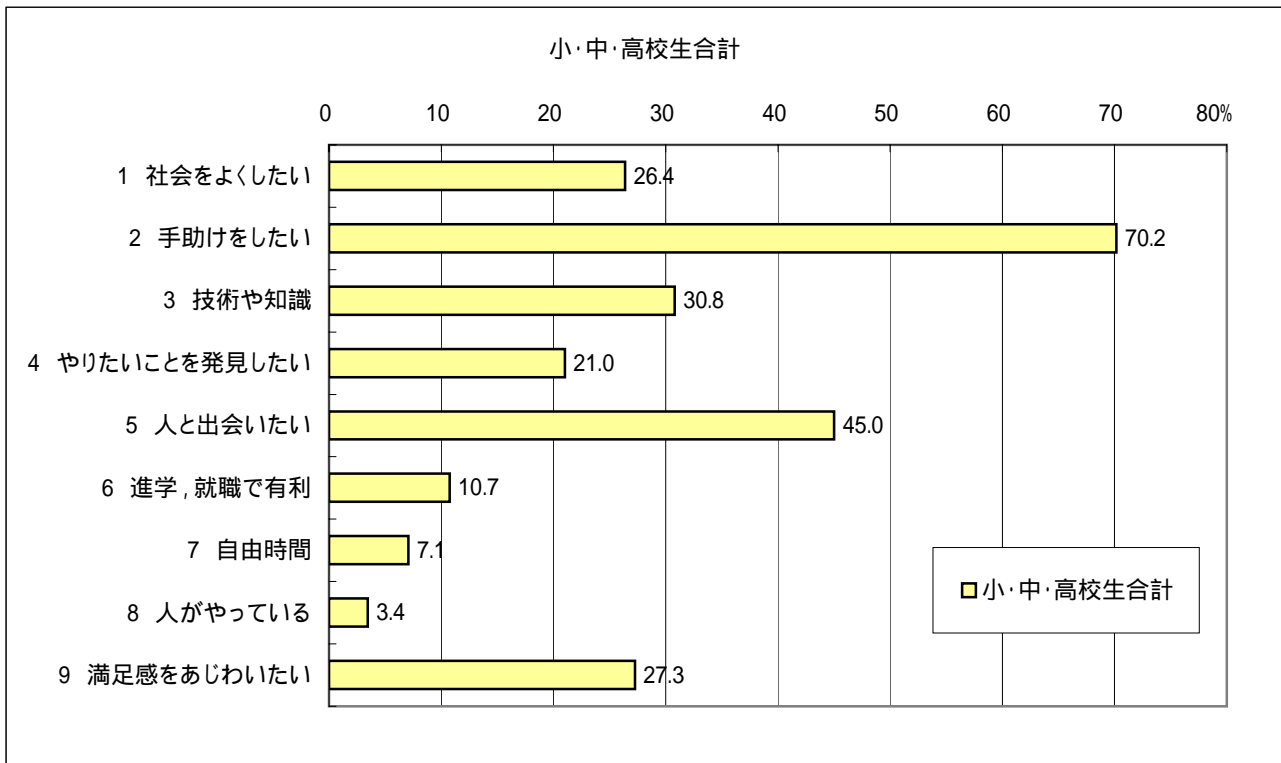
このことから、ボランティアへの関心を高めるためには、学校や地域でまず活動の機会を作ってやることが有効であることがわかる。

3. ボランティアへの関心の理由

【小学5年生...問25】【中学2年生...問26】【高校2年生...問29】

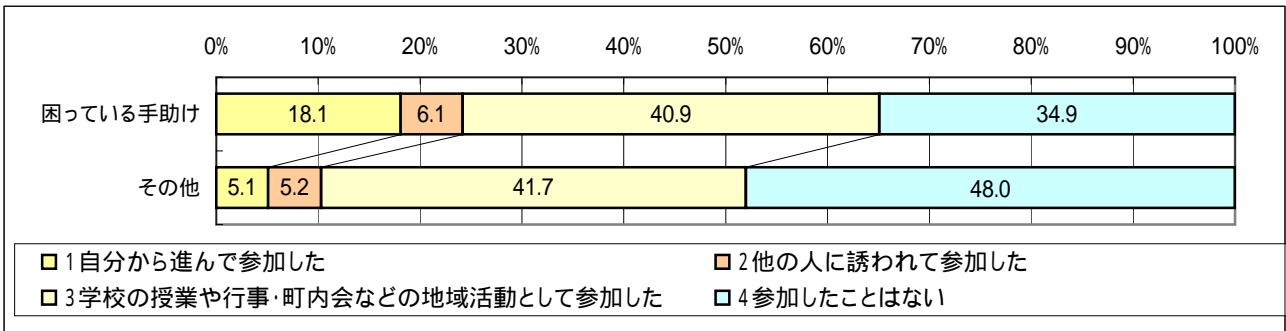
前問で(1)または(2)と答えた人に聞きます。それは、どのような気持ちからですか。次の中からあてはまるものを三つまで選んで をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1 地域や社会をよくしたいから | 2 困っている人の手助けをしたいから |
| 3 新しい技術や知識を身に付けたいから | 4 自分のやりたいことを発見したいから |
| 5 いろいろな人と出会いたいから | 6 進学、就職などで有利になるから(小学5年生を除く) |
| 7 自由時間を有効に使いたいから | 8 周りの人がやっているから |
| 9 達成感や満足感をあじわいたいから | |

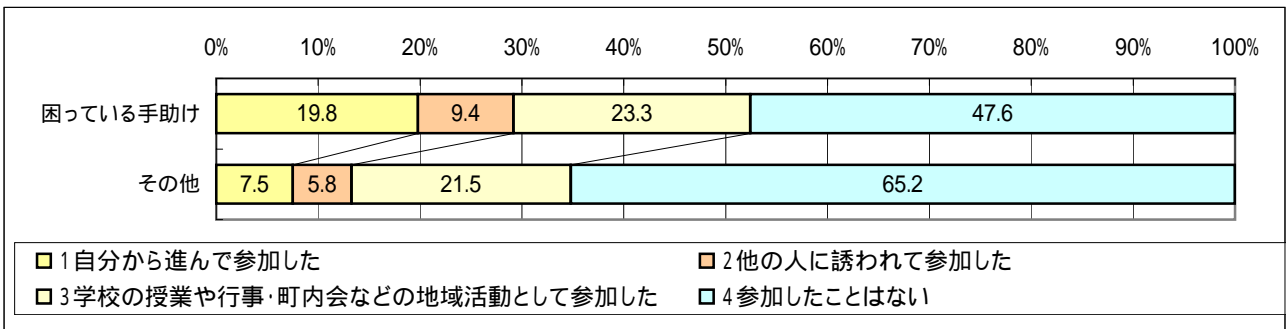


ボランティアへの関心の理由を見てみると、児童生徒全体では「困っている人の手助けをしたいから」(70.2%)が最も多く、次いで、「いろいろな人と出会いたいから」(45.0%)、「新しい技術や知識を身に付けたいから」(30.8%)の順になっている。逆に、最も少なかったのは「周りの人がやっているから」(3.4%)で、次いで「自由時間を有効に使いたいから」(7.1%)、「進学、就職などに有利になるから」(10.7%)が少ない。

「困っている人の手助けをしたいから」と「老人ホームや病院など施設への訪問」(参加した体験活動)との関係



「困っている人の手助けをしたいから」と「保育活動，障害のある人への支援」(参加した体験活動)との関係



ボランティアへの関心の理由で「困っている人の手助けをしたいから」と答えた者を見てみると、「老人ホームや病院など施設への訪問」「保育活動，障害のある人への支援」に「自分から進んで参加した」者は、18.1%、19.8%であり、その理由を挙げた者を除く全体より、それぞれ13.0、12.3ポイント高くなっている。

4. メールのやりとり 【高校2年生...問23】

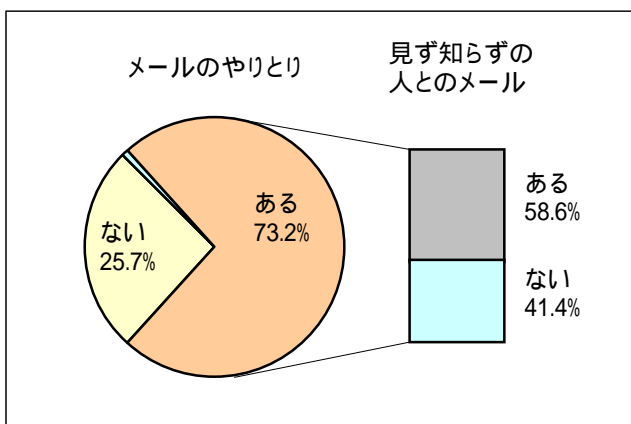
あなたは、誰かとメールのやりとりをしたことがありますか。次の中からあてはまるものを選んで番号を教えてください。

1 ある 2 ない

5. 見ず知らずの人とのメール 【高校2年生...問24】

問23で「ある」と答えた人に聞きます。あなたは、見ず知らずの人とメールのやりとりをしたことがありますか。次の中からあてはまるものを選んで番号を教えてください。

1 ある 2 ない



高校2年生では、「メールのやりとり」をしたことがあると答えた生徒は73.2%である。

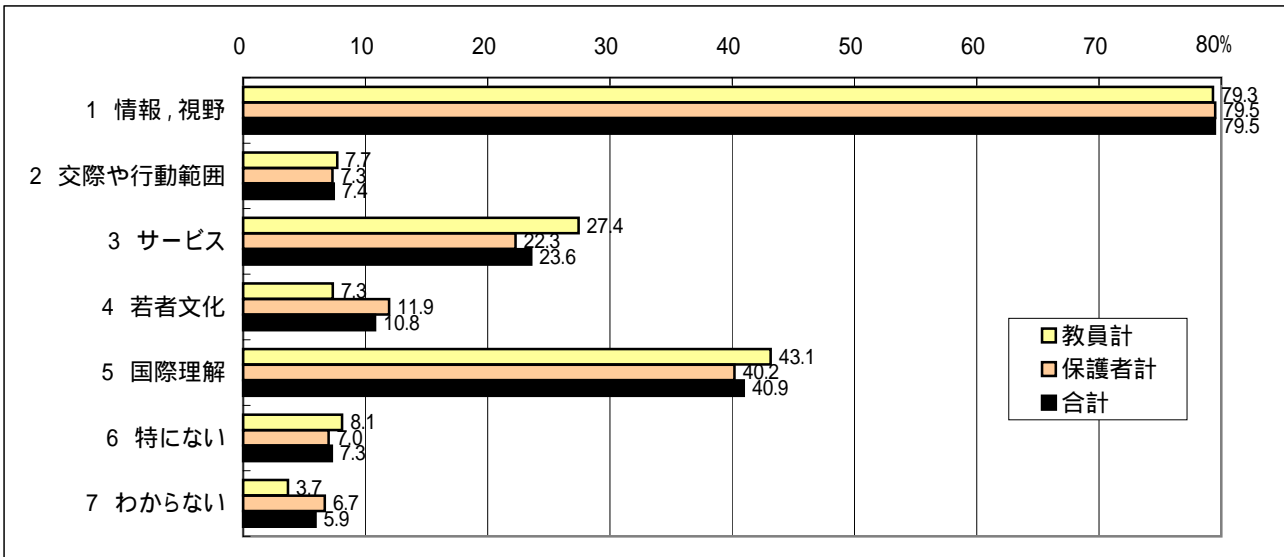
また、「メールのやりとり」をしたことがある生徒のうち、「見ず知らずの人とのメール」のやりとりをしたことがあると答えた生徒は約6割(58.6%)である。

メールを利用した犯罪が増加の傾向にあり、指導の強化が望まれる。

6 . 情報の利点 【教員...問20】【保護者...問28】

情報機器・情報サービスの普及・使用により青少年にプラスとなることは何だと思えますか。次の中からあてはまるものを二つまで選んでをつけてください。

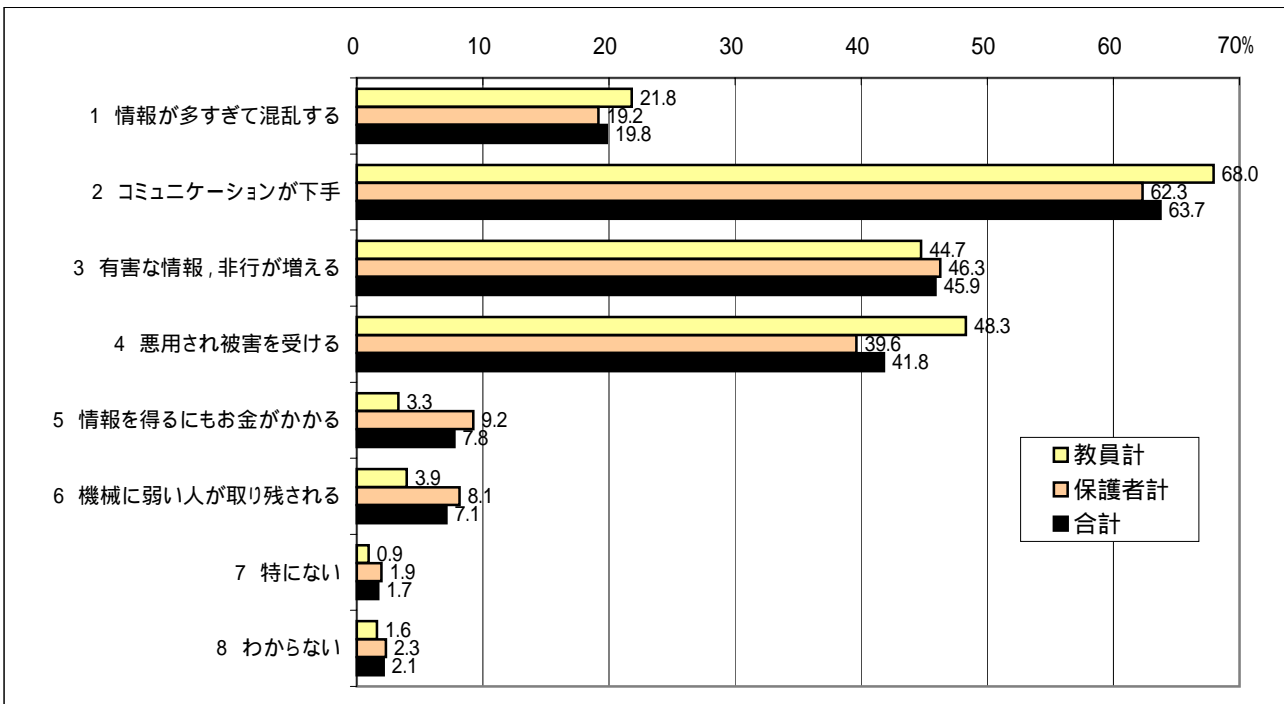
- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1 さまざまな情報が容易に得られ、視野が広がる | 2 交際や行動範囲が拡大する |
| 3 手軽にサービスが利用でき、生活が便利になる | 4 新しい若者文化が生まれる |
| 5 国を越えたコミュニケーションにより国際理解が深まる | 6 特にない 7 わからない |



7 . 情報の弊害 【教員...問21】【保護者...問29】

情報機器・情報サービスの普及・使用により青少年にマイナスとなることは何だと思えますか。次の中からあてはまるものを二つまで選んでをつけてください。

- | | |
|------------------------------|--|
| 1 情報が多すぎて混乱する | 2 人と直接ふれあう機会が少なくなり、対面でのコミュニケーションが下手になる |
| 3 有害な情報が簡単に入手できるようになり、非行が増える | 4 悪用されたり誤って使われたりして被害を受ける |
| 5 ちょっとした情報を得るにもお金がかかる | 6 機械に弱い人が取り残される |
| 7 特にない | 8 わからない |



情報の利点は「さまざまな情報が容易に得られ、視野が広がる」(79.5%)が最も多く、次いで「国を越えたコミュニケーションにより国際理解が深まる」(40.9%)、3番目が「手軽にサービスが利用でき、生活が便利になる」(23.6%)の順である。

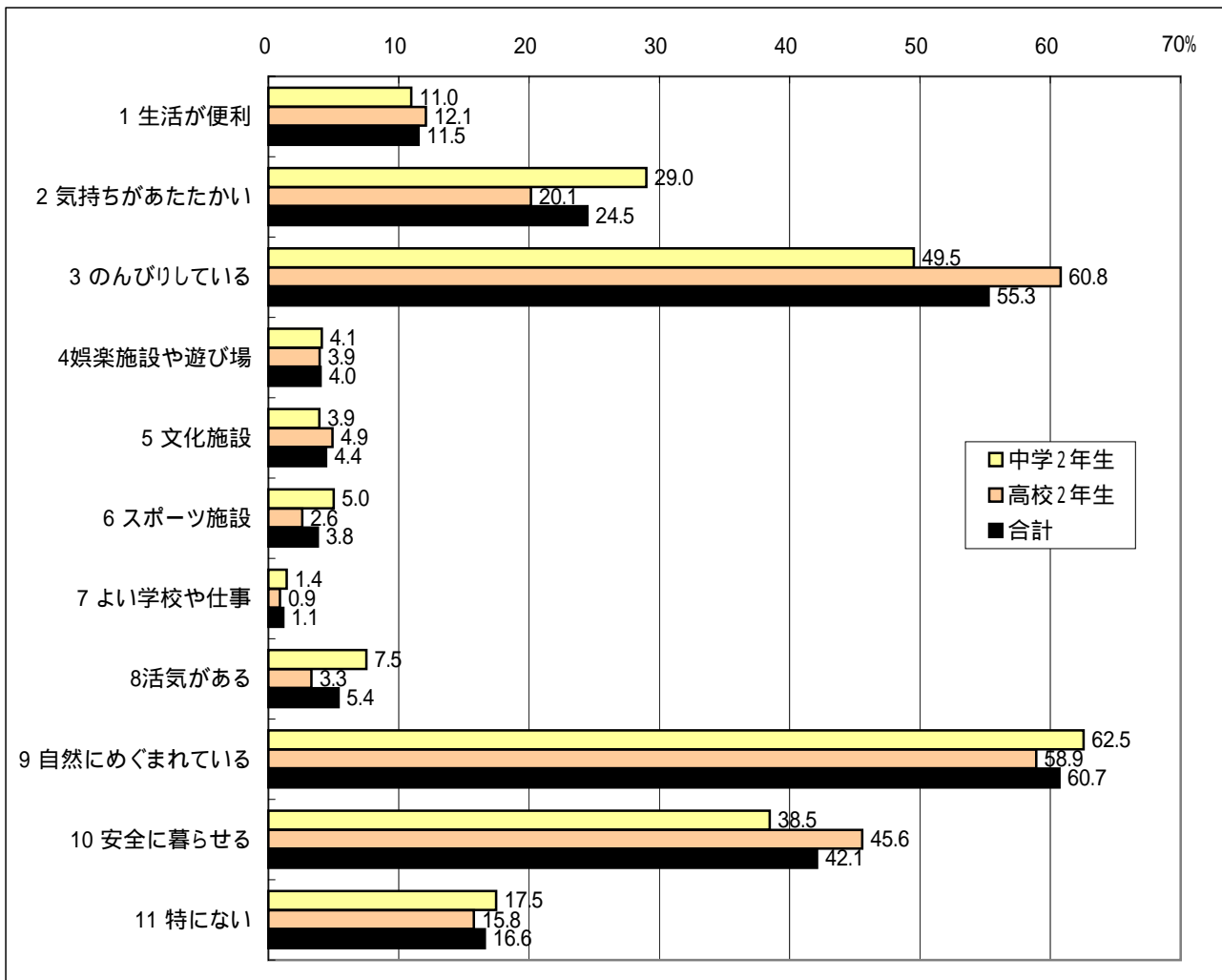
一方 弊害は「人と直接ふれあう機会が少なくなり、対面でのコミュニケーションが下手になる」が63.7%で最も多く、次いで「有害な情報が簡単に入手できるようになり、非行が増える」(45.9%)、3番目が「悪用されたり誤って使われたりして被害を受ける」(41.8%)の順となっている。

教員と保護者の差が5ポイント以上あるものは、教員が上回っているものが、情報の利点で「手軽にサービスが利用でき、生活が便利になる」(5.1ポイント)、弊害で「人と直接ふれあう機会が少なくなり、対面でのコミュニケーションが下手になる」(5.7ポイント)、「悪用されたり誤って使われたりして被害を受ける」(8.7ポイント)。保護者が上回っているものは、情報の弊害で「ちょっとした情報を得るにもお金がかかる」(5.9ポイント)である。

8 . あなたの町の好きなところ 【中学2年生...問23】【高校2年生...問25】

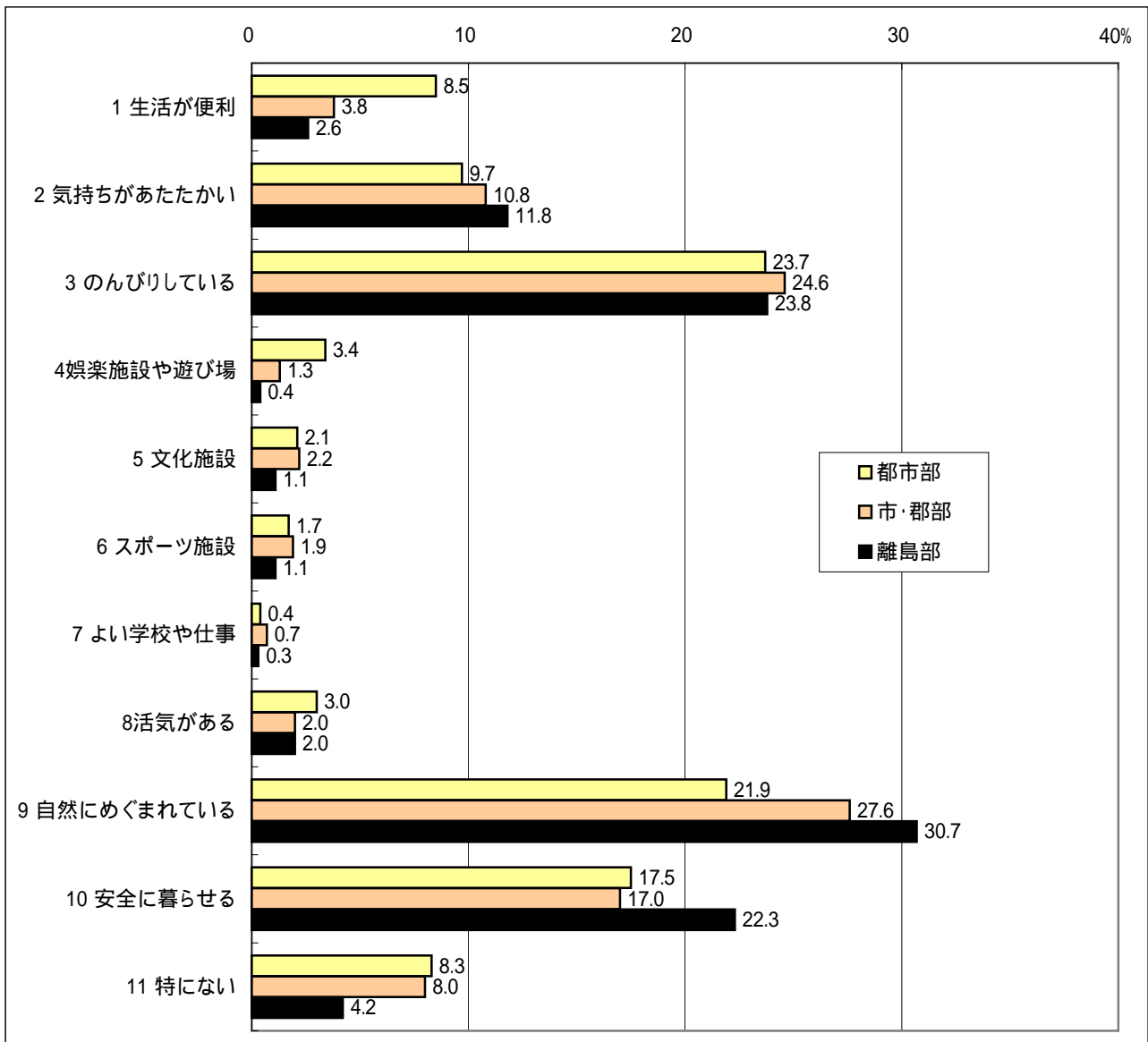
あなたは、今住んでいる市や町や村のどういうところが好きですか。次の中からあなたの考えに近いものを三つまで選んで をつけてください。

- 1 生活が便利である
- 2 人の気持ちがあたたかい
- 3 のんびりしている
- 4 娯楽施設(映画館や遊園地など)や遊び場がある
- 5 文化施設(図書館や美術館など)がある
- 6 スポーツ施設がある
- 7 よい学校や仕事が多い
- 8 活気がある
- 9 自然にめぐまれている
- 10 安全に暮らせる
- 11 特にない



中高生の合計でみると、最も多いのが「自然に恵まれている」(60.7%)で、次いで「のんびりしている」(55.3%)、3番目が「安全に暮らせる」(42.1%)の順となっている。「良い学校や仕事がある」(1.1%)、「スポーツ施設がある」(3.8%)、「娯楽施設(映画館や遊園地など)や遊び場がある」(4.0%)、「文化施設(図書館や美術館など)がある」(4.4%)など施設の有無はあまり重要視していないことがわかる。

地区別



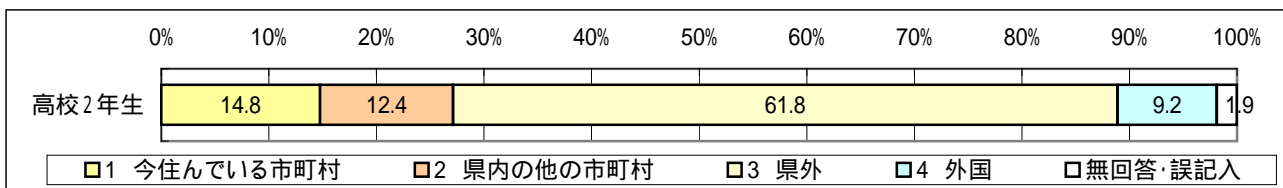
地区別で好きな理由を見てみると、「都市部」は、「のんびりしている」(23.7%)、「自然にめぐまれている」(21.9%)の順である。「市・郡部」と「離島部」は、「自然にめぐまれている」(27.6%, 30.7%)、「のんびりしている」(24.6%, 23.8%)となり、順序は逆転しているが、それほど大きな差は認められない。

「特にない」という答えは、「都市部」「市・郡部」に比べて「離島部」はおよそ半分である。

9. どこで暮らしたいか 【高校2年生...問26】

あなたは、社会人になった時、どこで暮らしたいですか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

- 1 今住んでいる市町村 2 県内の他の市町村 3 県外 4 外国

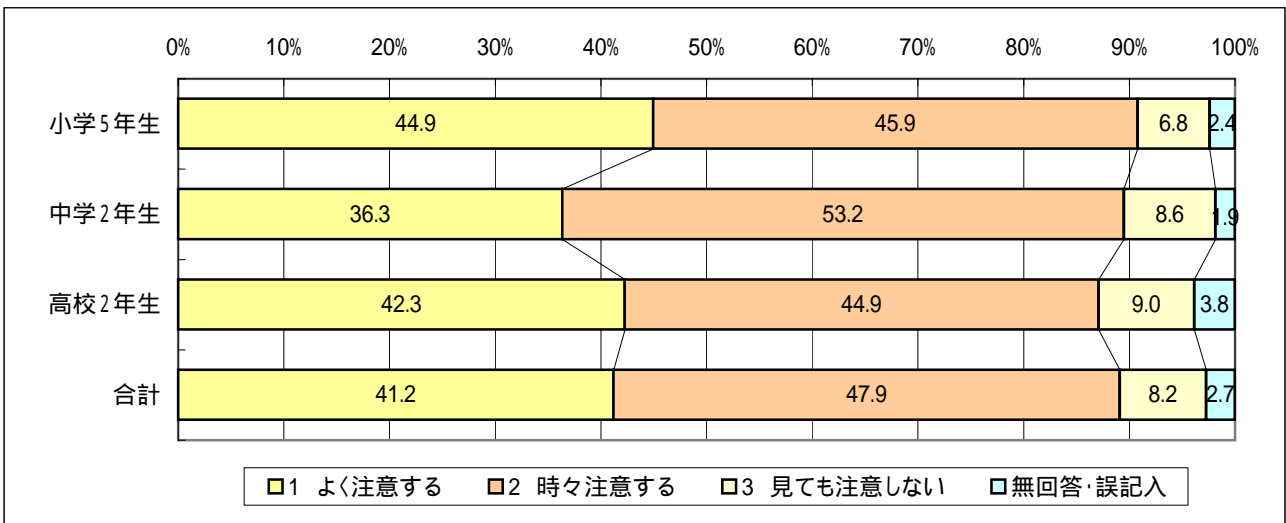


高校2年生の回答でみると「県外」(61.8%)「今住んでいる市町村」(14.8%)「県内の他の市町村」(12.4%)「外国」(9.2%)の順である。「県外」と「県内」の差は、約35ポイントである。

10. 大人は注意するか 【小学5年生...問28】【中学2年生...問30】【高校2年生...問33】

あなたたちが悪いことや迷惑をかけることをしたとき、まわりの大人は注意しますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。

- 1 よく注意する 2 時々注意する 3 見ても注意しない

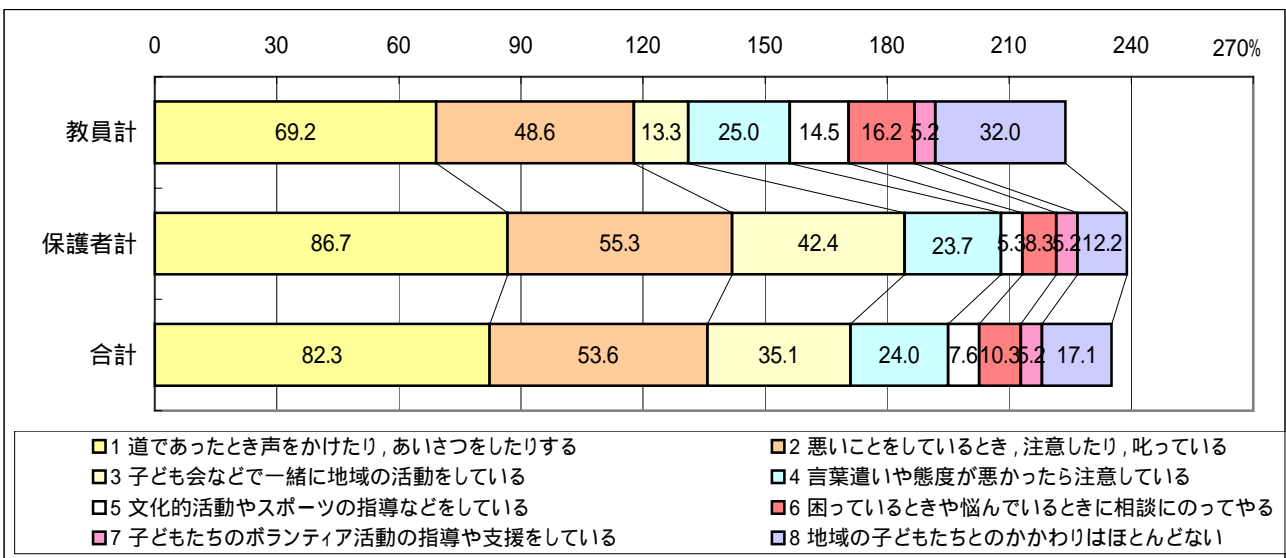


校種間の差は少ない。「よく注意する」+「時々注意する」でみると、小学校5年生90.8%，中学校2年生89.5%，高校2年生87.2%となり，約9割の児童生徒は地域の大人の目を意識して生活していることがうかがえる。

11. 地域の子どもへの接し方 【教員...問12】【保護者...問20】

あなたは、普段地域の子どもたちに対して、どのように接していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで をつけてください。

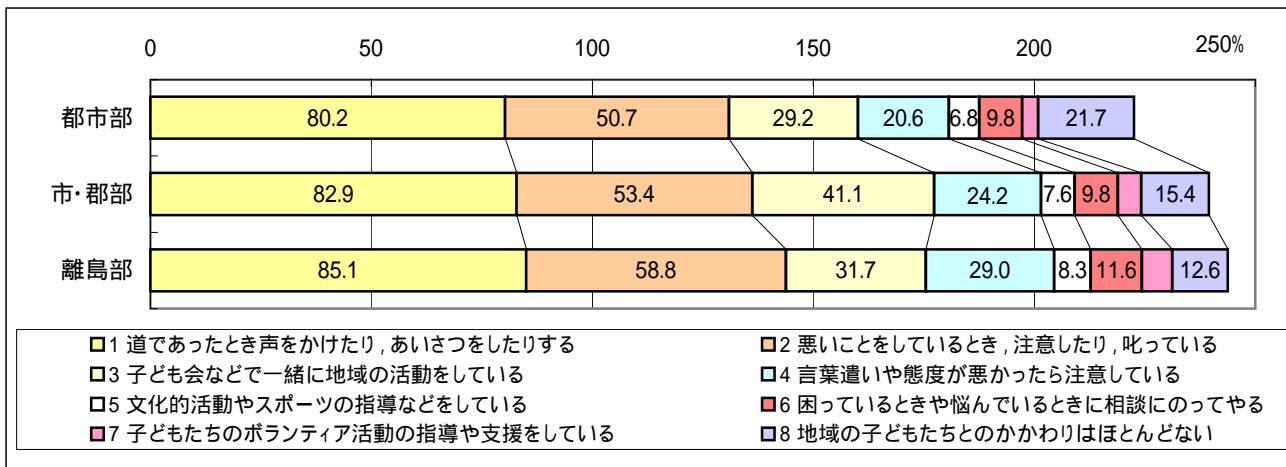
- 1 道であったとき声をかけたり，あいさつをしたりする
- 2 悪いことをしていることに気づいたとき，注意したり，叱ったりしている
- 3 子ども会などで一緒に地域の活動をしている
- 4 言葉遣いや態度が悪かったら注意している
- 5 文化的活動やスポーツの指導などを行っている
- 6 困っているときや悩んでいるときに相談にのってやる
- 7 子どもたちのボランティア活動の指導や支援をしている
- 8 地域の子どもたちとのかわりはほとんどない



最も多いのが「道であったとき声をかけたり、あいさつをしたりする」で82.3%，次が「悪いことをしていることに気づいたとき、注意したり、叱ったりしている」53.6%で、3番目が「子ども会などで一緒に地域の活動をしている」の35.1%の順である。教員，保護者とも学年が上がるにつれて，地域の活動や子どもたちとのかかわりが減少していく傾向がある。

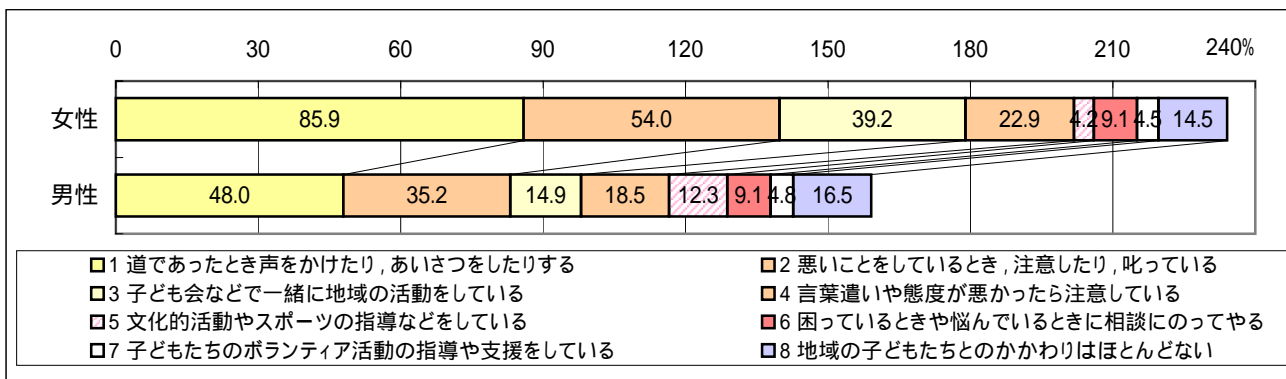
また，「子供会などで一緒に地域の活動をしている」という回答については，教員，保護者間で29.1ポイントの差(教員13.3%，保護者42.4%)があり，「地域の子供たちとのかかわりはほとんどない」という回答は19.8ポイントの差(教員32.0%，保護者12.2%)があった。学校週5日制に伴い，教員には地域の子どもたちとの関わりをより一層深めることが求められる。

大人全体の地区別



「悪いことをしている」子どもや「言葉遣いや態度が悪い」子どもに注意するという大人の割合は，離島部，市・郡部，都市部の順で高い。また，「かかわりはほとんどない」という回答は同じく，離島部，市・郡部，都市部の順で低くなる。これらの項目が地域の教育力のバロメーターになると思われる。なお，市・郡部で「子ども会などで一緒に地域の活動をしている」という回答率が高いことが注目される。

大人全体の男女別

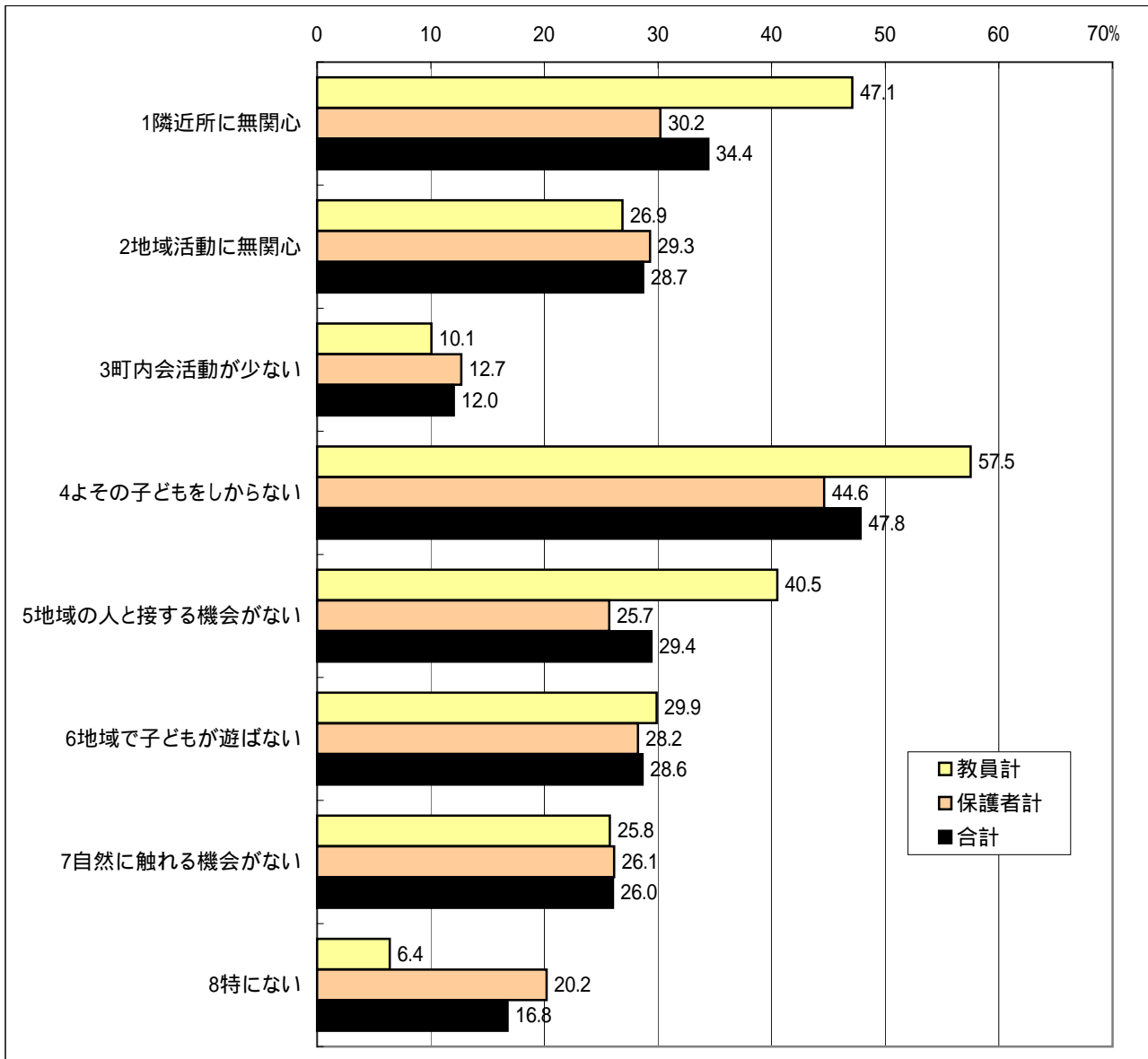


大人の男性は，地域の子どもたちへの日常的なかかわりが希薄であることがわかる。「文化的活動やスポーツの指導」「ボランティア活動の指導や支援」は男性が多い。「相談にのってやる」は同率である。それ以外の4項目は女性の回答率が圧倒的に高い。

12. 地域の問題 【教員...問13】【保護者...問21】

地域社会(あなたの地域)について、何か問題だと思う点がありますか。次の中から三つまで選んでつけてください。

- 1 隣近所に無関心な人が増えた
- 2 地域での活動やイベントなどに無関心な人が増えた
- 3 町内会などの活動が少なくなった
- 4 よその家の子どもをしからなくなった
- 5 青少年が地域の人と接する機会が少なくなった
- 6 地域で子どもが遊んだり、スポーツをしたりする機会が少なくなった
- 7 地域で自然に触れる機会が少なくなった
- 8 特にない



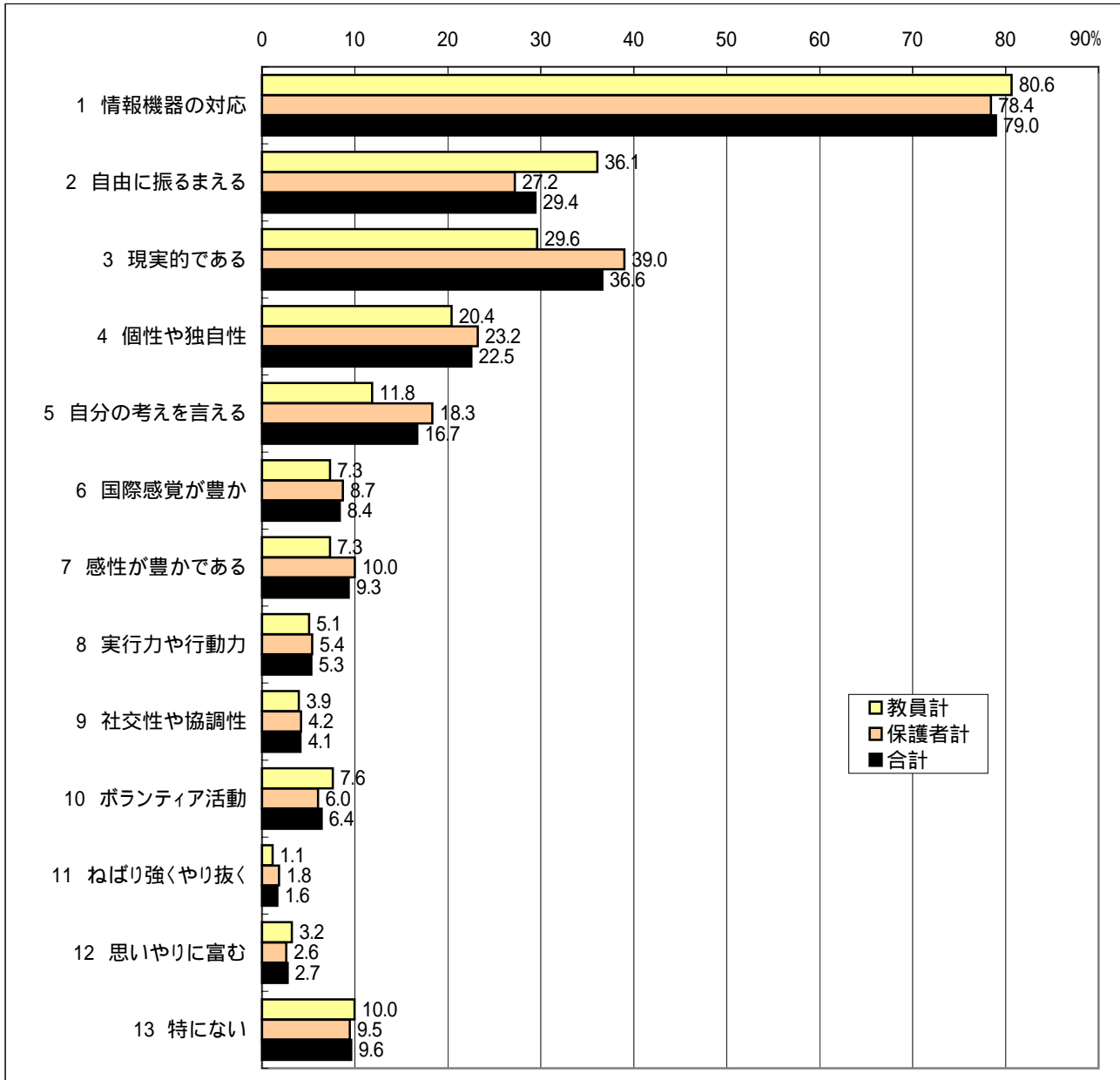
「よその家の子どもをしからなくなった」という回答が教員、保護者ともに最も多く全体で47.8%(教員57.5%, 保護者44.6%)であった。次に多かったのは、「隣近所に無関心な人が増えた」という回答で、教員は47.1%, 保護者では30.2%とともに3割を越えている。

3番目が「青少年が地域の人と接する機会が少なくなった」で教員は40.5%, 保護者は25.7%となっている。

13. 現在の青少年の優れている点 【教員...問14】 【保護者...問22】

現在の青少年の考え方や行動を身近に見て、優れている面をあげるとすればどのようなことだと思いますか。次の中から三つまで選んで をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 情報機器などへの対応が早い | 2 自由にのびのびと振るまえる |
| 3 現実的である | 4 個性や独自性を大切にしている |
| 5 自分の考えをはっきり言える | 6 国際感覚が豊かである |
| 7 感性が豊かである | 8 実行力や行動力がある |
| 9 社交性や協調性がある | 10 ボランティア活動に積極的に参加する |
| 11 ねばり強く物事をやり抜く | 12 思いやりに富む |
| 13 特にない | |



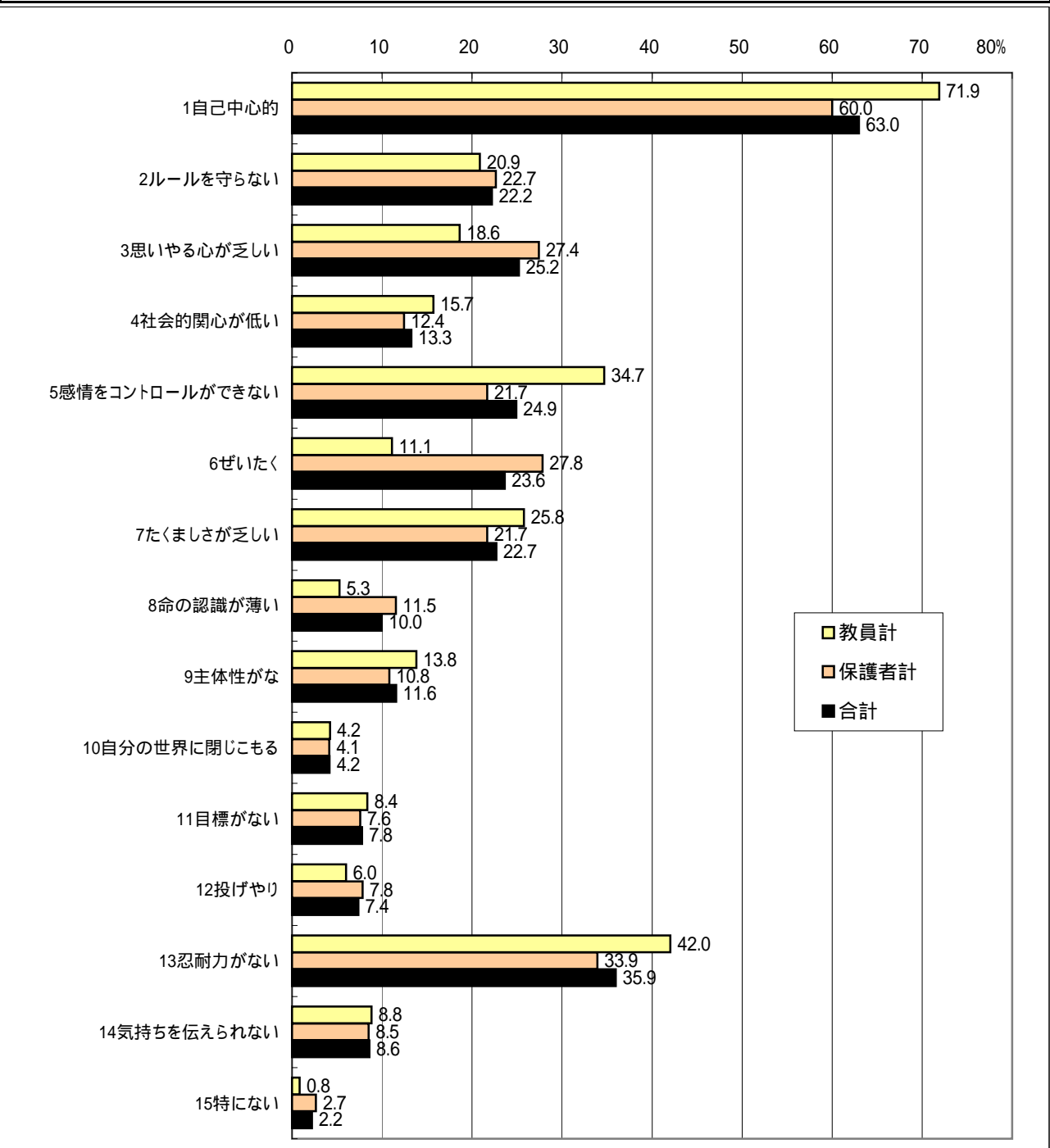
教員、保護者ともほぼ同じような見方をしており、最も多いのは「情報機器などへの対応が早い」で約8割である(教員80.6%、保護者78.4%)。加えて、教員、保護者とも2割以上の回答があったのは「現実的である」(教員29.6%、保護者39.0%)、「自由にのびのびと振るまえる」(教員36.1%、保護者27.2%)「個性や独自性を大切にしている」(教員20.4%、保護者23.2%)の4つである。

逆に少ないのは、「ねばり強く物事をやり抜く」(教員1.1%、保護者1.8%)、「思いやりに富む」(教員3.2%、保護者2.6%)、「社交性や協調性がある」(教員3.9%、保護者4.2%)の3つである。

14. 現在の青少年の憂慮すべき点 【教員...問15】 【保護者...問23】

また、憂慮すべき面をあげるとすればどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを三つまで選んでをつけてください。

- 1 自己中心的な考えや行動が多い
- 2 社会的なルールを守らない
- 3 他人を思いやる心が乏しい
- 4 社会的・公共的なことへの関心が低い
- 5 自分の感情や欲望がうまくコントロールできない
- 6 ぜいたくを好み、ものを大切にしない
- 7 精神的なたくましさが乏しい
- 8 命の大切さについての認識が薄い
- 9 主体性がなく、友だちなど周囲の考えに安易に同調する
- 10 人と人とのふれあいを避け、自分の世界に閉じこもる
- 11 将来に対する生きがいや目標がない
- 12 意欲・チャレンジ精神が乏しく、投げやりな態度である
- 13 忍耐力がない、我慢ができない
- 14 自分の気持ちを他人にうまく伝えられない
- 15 特になし



社会生活・他

教員，保護者ともに「自己中心的な考えや行動が多い」という回答が最も多く，全体で6割(教員71.9%，保護者60.0%)を越えている。次に多いのが，教員・保護者共通で「忍耐力がない，我慢ができない」(教員42.0%，保護者33.9%)である。3番目は，教員は「自分の感情や欲望がうまくコントロールできない」(34.7%)，保護者は「ぜいたくを好み，ものを大切にしない」(27.8%)である。

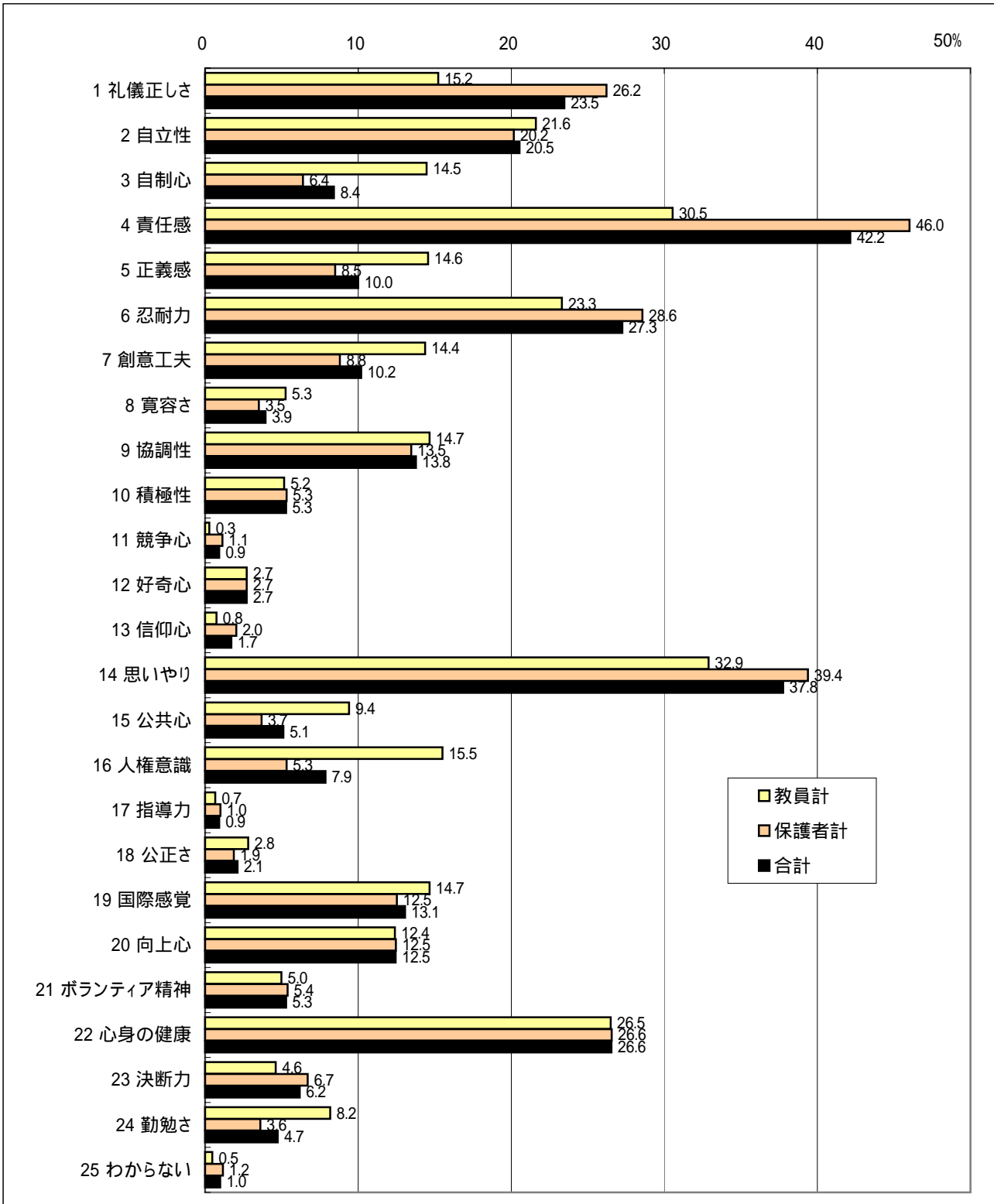
逆に少ないものとしては，教員では，「人と人とのふれあいを避け，自分の世界に閉じこもる」(4.2%)，「命の大切さについての認識が薄い」(5.3%)，「意欲・チャレンジ精神が乏しく，投げやりな態度である」(6.0%)であり，保護者では，「人と人とのふれあいを避け，自分の世界に閉じこもる」(4.1%)，「将来に対する生きがいや目標がない」(7.6%)，「意欲・チャレンジ精神が乏しく，投げやりな態度である」(7.8%)である。

教員と保護者で開きが大きいものとしては，「ぜいたくを好み，ものを大切にしない」が16.7ポイントの差(教員11.1%，保護者27.8%)で保護者が高く，「自分の感情や欲望がうまくコントロールできない」が13.0ポイントの差(教員34.7%，保護者21.7%)で教員が高い。

15. 21世紀をになう青少年が身につけるべき資質 【教員...問17】 【保護者...問25】

あなたは、21世紀をになう青少年が身につけるべき資質は何だと思えますか。次の中から特に大切と思うものを三つまで選んで をつけてください。

- | | | | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|----------|--------|---------|
| 1 礼儀正しさ | 2 自立性 | 3 自制心 | 4 責任感 | 5 正義感 | 6 忍耐力 | 7 創意工夫 |
| 8 寛容さ | 9 協調性 | 10 積極性 | 11 競争心 | 12 好奇心 | 13 信仰心 | 14 思いやり |
| 15 公共心 | 16 人権意識 | 17 指導力 | 18 公正さ | 19 国際感覚 | 20 向上心 | |
| 21 ボランティア精神 | 22 心身の健康 | 23 決断力 | 24 勤勉さ | 25 わからない | | |



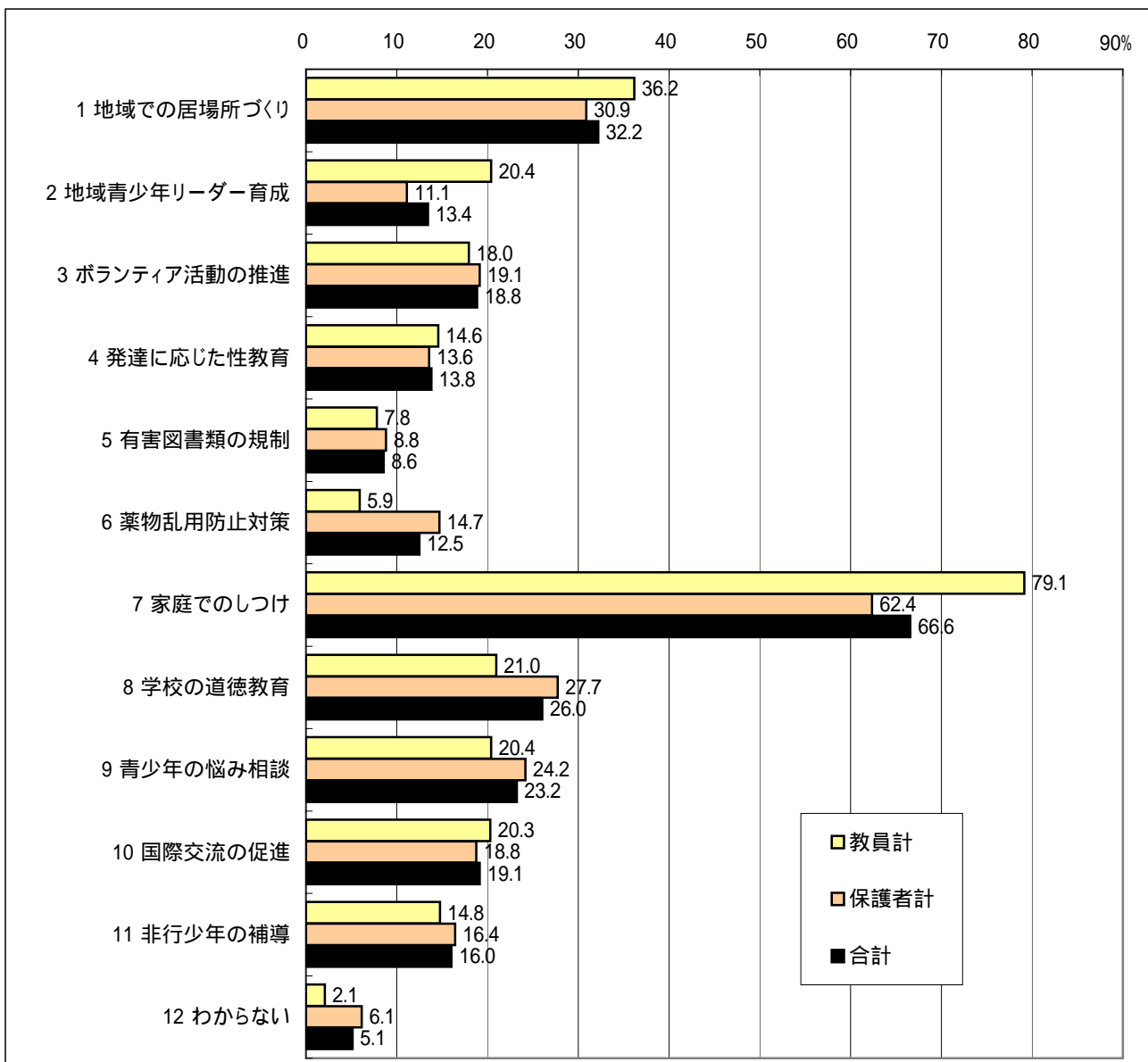
全体で最も多いのが「責任感」の42.2%で、2番目が「思いやり」(37.8%)、3番目が「忍耐力」(27.3%)、以下「心身の健康」(26.6%)、「礼儀正しさ」(23.5%)、「自立性」(20.5%)の順である。「責任感」に関しては教員と保護者間で16ポイント(教員30.5%、保護者46.0%)の開きがある。

上記以外では、高校教員の「創意工夫」21.5%(教員計14.4%)、小学校教員の「人権意識」20.9%(教員計15.5%)の2つが多い。

16. 望ましい成長発達を支える取り組み 【教員...問18】 【保護者...問26】

青少年の望ましい成長・発達を支えていくためにはどのような取り組みが必要と思いますか。次の中から三つまで選びをつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 地域での青少年の居場所づくり | 2 地域における青少年リーダーの育成 |
| 3 ボランティア活動の推進 | 4 発達段階に応じた性教育 |
| 5 青少年に有害な図書類の規制 | 6 薬物乱用防止対策に関わる普及啓発活動の推進 |
| 7 家庭でのしつけや教育の大切さについての啓発 | 8 学校での道德教育の充実 |
| 9 青少年の悩みについての相談窓口の充実 | 10 青少年の相互交流・国際交流の促進 |
| 11 非行少年の補導・保護の充実 | 12 わからない |

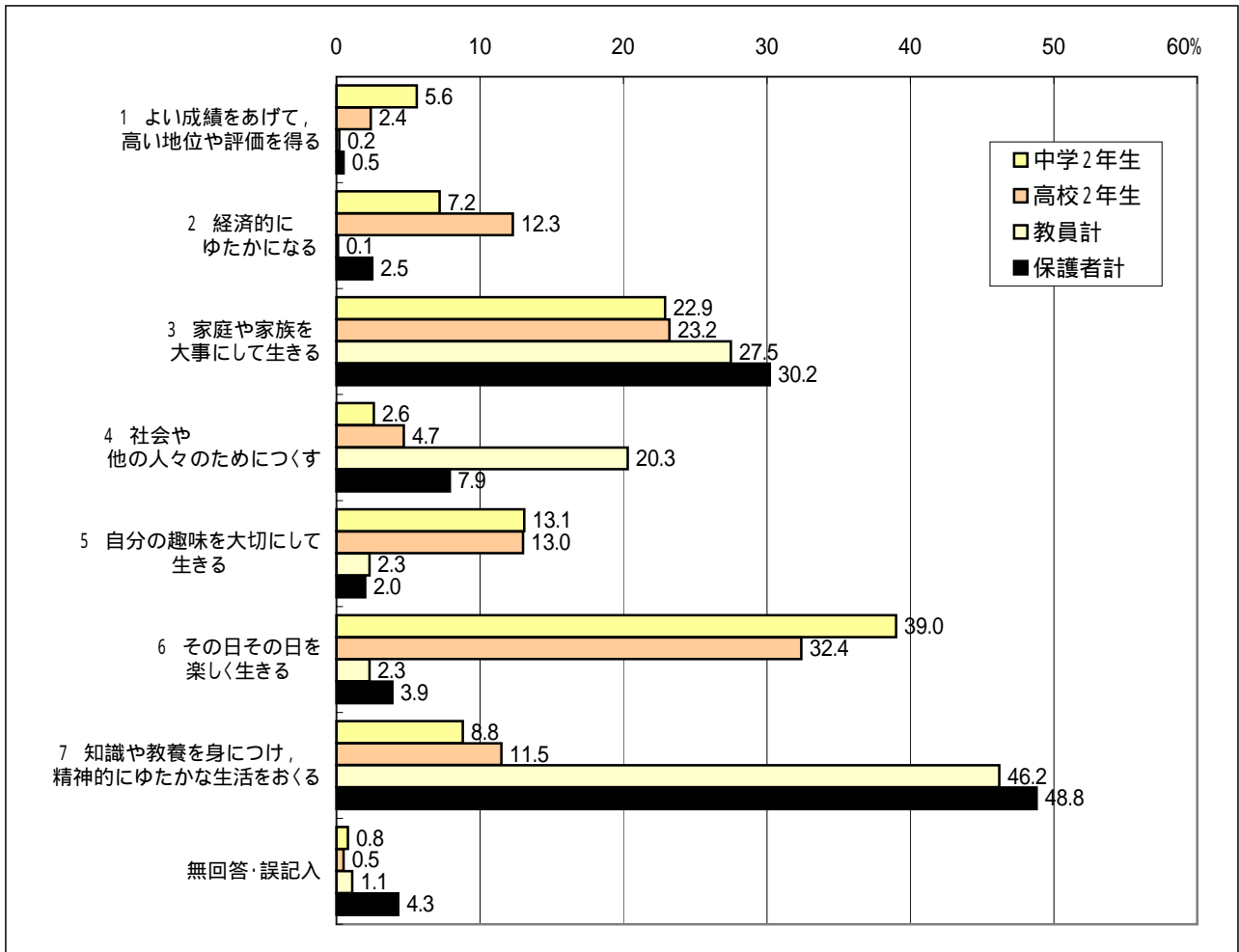


全体で見ると最も多いのが「家庭でのしつけや教育の大切さについての啓発」(66.6%)で教員が保護者より16.7ポイント多い。次いで「地域での青少年の居場所づくり」(32.2%)、3番目が「学校での道德教育の充実」(26.0%)、4番目が「青少年の悩みについての相談窓口の充実」(23.2%)の順となっている。

17. 子どもの生き方 【中学2年生...問28】【高校2年生...問31】【教員...問16】【保護者...問24】

人の生き方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような生き方をしたいですか。(児童生徒や子どもさんにはどのような生き方をしてほしいと思いますか。)次の中からあなたの考え方に最も近いものを、一つ選んで番号を教えてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 よい成績をあげて、高い地位や評価を得る | 2 経済的にゆたかになる |
| 3 家庭や家族を大事にして生きる | 4 社会や他の人々のためにつくす |
| 5 自分の趣味を大切に生きて生きる | 6 その日その日を楽しく生きる |
| 7 知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる | |



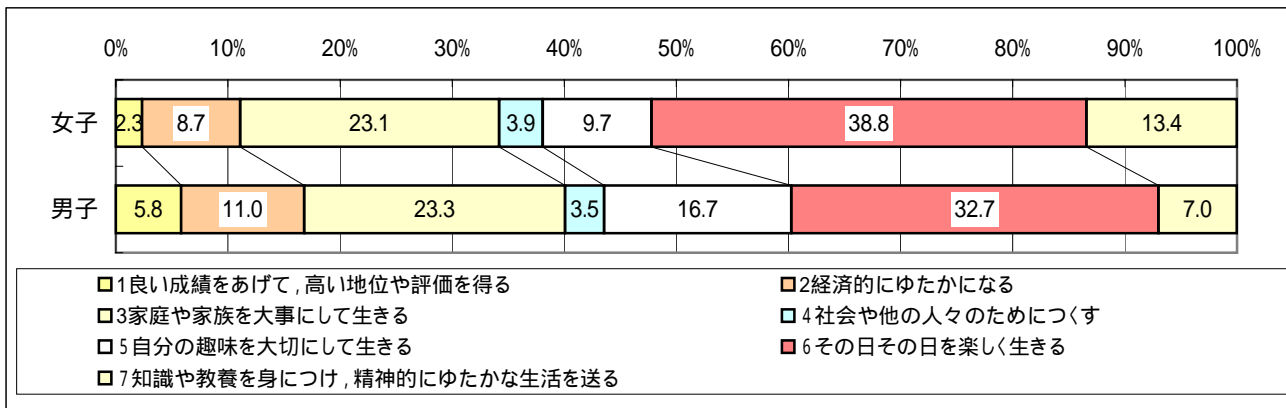
中学2年生・高校2年生とも共通して多いのが、「その日その日を楽しく生きる」(中学2年生39.0%、高校2年生32.4%)、「家庭や家族を大事にして生きる」(中学2年生22.9%、高校2年生23.2%)で、この二つでほぼ6割を占めている。3番目は「自分の趣味を大切に生きて生きる」(中学2年生13.1%、高校2年生13.0%)で、やや共通している。

教員と保護者で多いのが「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる」(教員46.2%、保護者48.8%)、「家庭や家族を大事にして生きる」(教員27.5%、保護者30.2%)で、この二つで7割を越えている。3番目は、ともに「社会や他の人々のためにつくす」であるが、教員が20.3%、保護者は7.9%と数値の差は大きい。

生徒と大人の差の開きがあるものを見ると、「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる」は大人全体が48.2%であるのに対して、生徒全体では10.2%と生徒の方が38ポイント低い。また、「社会や他の人のためにつくす」も、大人全体の11.0%に対して、生徒全体は3.6%と開きが大きい。

逆に、「その日その日を楽しく生きる」が生徒全体で35.7%であるのに対して、大人全体では3.5%と大人が低く、32.2ポイントの開きがある。また、「自分の趣味を大切に生きて生きる」(生徒全体13.0%、大人全体2.0%)、「経済的にゆたかになる」(生徒全体9.8%、大人全体1.9%)も、大きな開きがある。

子どもの男女別

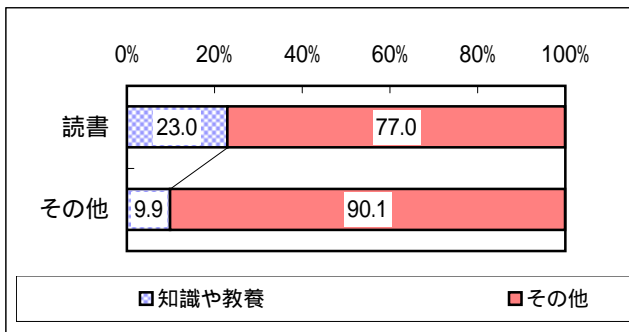


男女ともに、「家庭や家族を大事にして生きる」は23%台で差は見られない。また、「社会や他の人のためにつくす」も3%台で差がない。

「その日その日を楽しく生きる」(女38.8%, 男32.7%), 「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活を送る」(女13.4%, 男7.0%)の2項目は、女子が多く、一方、「自分の趣味を大切に生きる」(女9.7%, 男16.7%), 「経済的にゆたかになる」(女8.7%, 男11.0%), 「良い成績をあげて、高い地位や評価を得る」(女2.3%, 男5.8%)は、男子が多い。

「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる」と「読書」(家庭生活)との関係

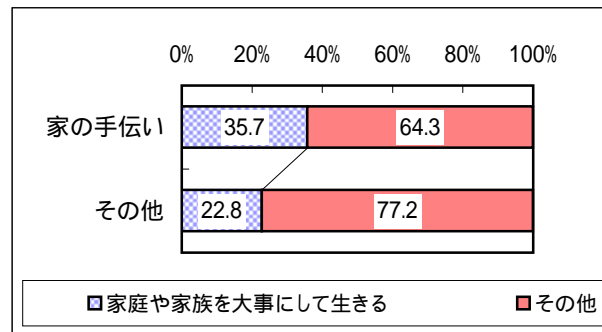
「子どもの生き方」は、「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる」の群と「その他」の群に分けた。「下校後の過ごし方」(家庭生活)は、「読書」の群と「その他」の群の二つに分けた。



読書:n=61 その他:n=2109 [***]

「家庭や家族を大事にして生きる」と「家の手伝い」(家庭生活)との関係

「子どもの生き方」は、「家庭や家族を大事にして生きる」の群と「その他」の群に分けた。「下校後の過ごし方」(家庭生活)は、「家の手伝い」の群と「その他」の群の二つに分けた。



家の手伝い:n=70 その他:n=2100 [**]

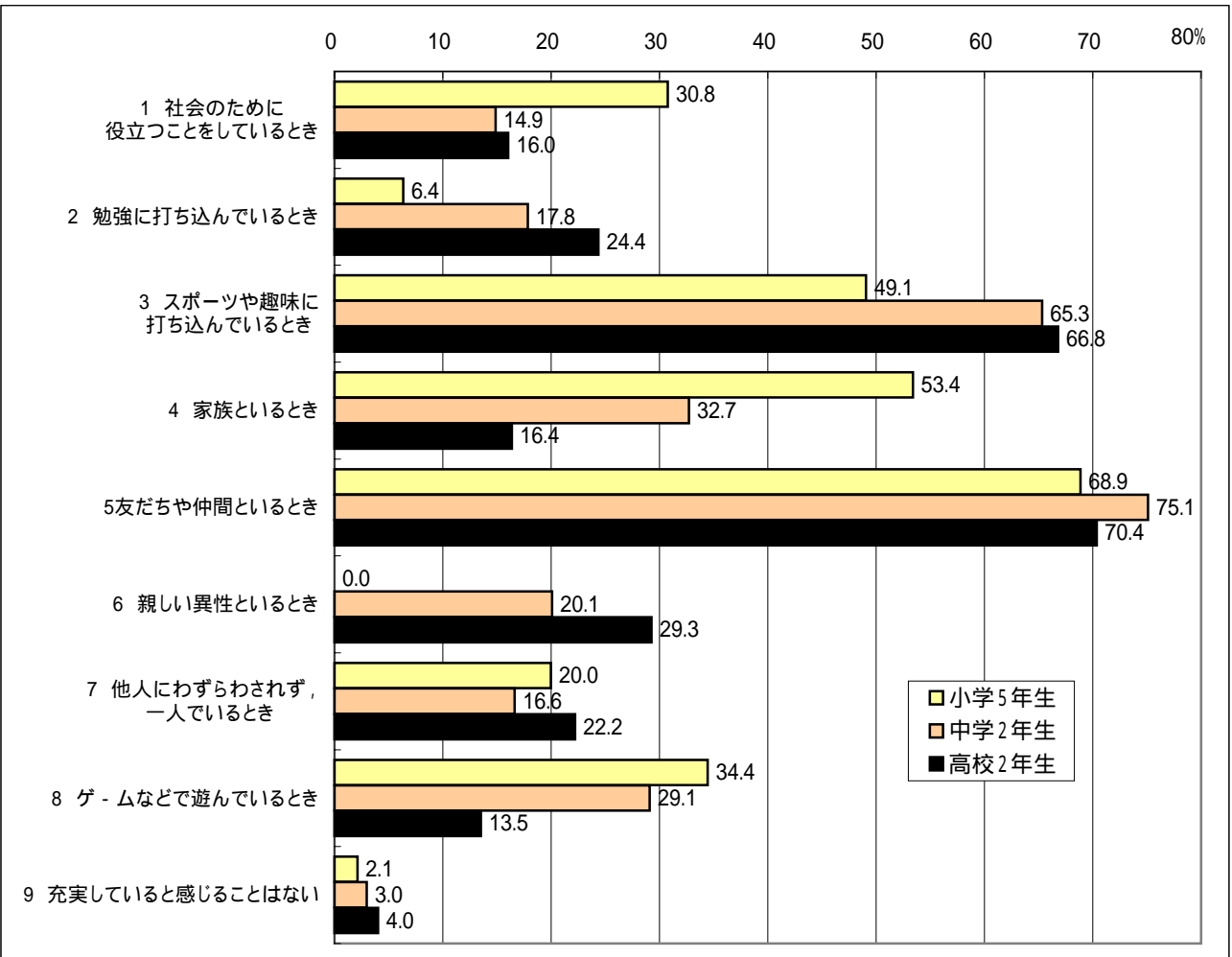
「下校後の過ごし方」(家庭生活)と「子供の生き方」の関係を調べたが、次の2点において明らかな違いが認められた。

「下校後の過ごし方」で「読書」を選んだ生徒は、他の生徒と比べると、「知識や教養を身につけ、精神的にゆたかな生活をおくる」を選んだ率が、13.1ポイント高い。同じ設問で「家の手伝い」を選んだ生徒は、他の生徒と比べると、「家庭や家族を大事にして生きる」を選んだ率が12.9ポイント高い。

18. 幸せを感じる時 【小学5年生...問27】【中学2年生...問29】【高校2年生...問32】

あなたは、どんなときに充実していると感じますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 社会のために役立つことをしているとき | 2 勉強に打ち込んでいるとき |
| 3 スポーツや趣味に打ち込んでいるとき | 4 家族といるとき |
| 5 友だちや仲間といるとき | 6 親しい異性といるとき（小学5年生は除く） |
| 7 他人にわずらわされず、一人であるとき | 8 ゲームなどで遊んでいるとき |
| 9 充実していると感じることはない | |



全体で見ると最も多いのが「友だちや仲間といるとき」(71.4%)で、次いで「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき」(60.4%)、3番目が「家族といるとき」(34.0%)、4番目が「ゲームなどで遊んでいるとき」(25.6%)の順となっている。

「友だちや仲間といるとき」、「ゲームなどで遊んでいるとき」に幸せを感じるといった回答が上位を占める。前問の「子どもの生き方」で「その日その日を楽しく生きる」(35.7%)と合わせ考えると、刹那的・快楽的な生き方を望む傾向がうかがえる。また、「充実していると感じることはない」は3.0%である。

「ゲームなどで遊んでいるとき」は学年が上がるにつれて減少し、逆に「勉強に打ち込んでいるとき」は学年が上がるにつれて増加し、高校2年生では4人に一人が勉強に打ち込んでいるとき充実感を感じると回答している。また、中・高生に比べて小学生は「社会のために役立つことをしているとき」と答えたものが30.8%と多いのが特徴である。